								心岛国際医療福祉専門学校 				
科目名	ā	こころとた	からだのしくみ	学科名	介護福祉	- 学利	講師名	平野 雅子				
時間数		6	O時間	子符句	) 设备化	L <del>J 171</del>	実務経験の有無	看護師として病院介護福祉施設訪問看 護ステーション等で実務経験あり				
ģ	学年・学	学期配当	1 年次	(2年	下次		前期    後期	通期				
	目的・	ねらい					では介護を行う上で大切な尊厳ある支援、又介助をしてい< Oように行えば良いかを理解をする。					
	授業全体の 内容の概要 介護を必要とする人の生活支援を行うため、介護実践の根拠となる人間の心理や人体の構造・機能を理解 る学習とする。											
授業修了時の 達成課題 (到達目標) 生活支援の根拠となる人体の構造や機能について理解ができる。介護支援の場面に応じたこころとからだ しくみ、および心身の機能低下や障害が生活に及ぼす影響に関する基礎的な知識を身に付ける。												
回 形態     内 容												
	1	講義	からだのしくみを理解	する (移	動・身じたく	• 食事 • 淌		末期)				
	2	講義	からだのしくみを理解	する(移	動・身じたく	・食事・清	青潔・排泄・睡眠・終	末期)				
	3	講義	からだのしくみを理解	する(移	動・身じたく	・食事・清	青潔・排泄・睡眠・終	未期)				
	4	講義	からだのしくみを理解	する(移	動・身じたく	・食事・瀧	青潔・排泄・睡眠・終	末期)				
	5	講義	からだのしくみを理解	する(移	動・身じたく	・食事・瀧	青潔・排泄・睡眠・終え	末期)				
	6	講義	からだのしくみを理解	する(移	動・身じたく	・食事・清	青潔・排泄・睡眠・終え	末期)				
	7	講義	からだのしくみを理解	する(移	動・身じたく	・食事・瀧	青潔・排泄・睡眠・終え	末期)				
指導	8	講義	からだのしくみを理解	する(移	動・身じたく	・食事・瀧	青潔・排泄・睡眠・終	末期)				
計画	9	講義	からだのしくみを理解	する(移	動・身じたく	・食事・瀧	青潔・排泄・睡眠・終	末期)				
	10	講義	からだのしくみを理解	する(移	動・身じたく	・食事・瀧	青潔・排泄・睡眠・終え	末期)				
	11	講義	からだのしくみを理解	する(移	動・身じたく	• 食事 • 湍	青潔・排泄・睡眠・終	末期)				
	12	講義	からだのしくみを理解	する(移	動・身じたく	・食事・瀧	青潔・排泄・睡眠・終	末期)				
	13	講義	からだのしくみを理解	する(移	動・身じたく	・食事・瀧	青潔・排泄・睡眠・終	未期)				
	14	講義	からだのしくみを理解	する(移	動・身じたく	・食事・瀧	青潔・排泄・睡眠・終	未期)				
	15	講義	からだのしくみを理解	する(移	動・身じたく	・食事・瀧	青潔・排泄・睡眠・終え	末期)				
			原則、筆記試験の実施	筆記記	原 有・	無						
			しない場合は、授業の中	でレポート	や実技試験をお	おこなうこ	と。レポート課題・実技	試験				
テ=	キスト・	参考図書等	中央法規 最新介護福	祉士養成	講座11 ここ	ころとから	だのしくみ					
	評価。	方法	講義内で小テスト及び 授業態度・出席率など			トを実施す	する。振り返りとして	筆記試験評価を80%ととし、				

_					I			—————————————————————————————————————		
科目名	i	こころとた	いらだのしくみ	学科名	介護福祉	一学幻	講師名	平野 雅子		
時間数		6	O時間	5-14-1	710支間11	L <del>J 1</del> 17	実務経験の有無	看護師として病院介護福祉施設訪問看 護ステーション等で実務経験あり		
ė	学年・労	学期配当	1 年次	(2年	下次		前期    後	期通期		
	目的・	ねらい	体の基本的な仕組みを時高齢者に負担をかけ	学び理解 <sup>:</sup> ないよう	する。心の部3 にする為には <i>。</i>	分では介護 どのように	隻を行う上で大切な尊原 に行えば良いかを理解を	厳ある支援、又介助をしていく をする。		
授業全体の 内容の概要 介護を必要とする人の生活支援を行うため、介護実践の根拠となる人間の心理や人体 る学習とする。							里や人体の構造・機能を理解す			
	授業修 達成 (到達	課題	生活支援の根拠となるしくみ、および心身の	人体の構 機能低下	造や機能につい や障害が生活に	ハて理解た こ及ぼす景	ができる。介護支援の5 後に関する基礎的な5	易面に応じたこころとからだの 印識を身に付ける。		
		 形態				内				
	16	講義	前期の復習							
	17	講義	こころのしくみを理解	する(	総まとめ・国	試対策)				
	18	講義	こころのしくみを理解	する(	総まとめ・国語	試対策)				
	19	講義	こころのしくみを理解	する(	総まとめ・国語	式対策)				
	20	講義	こころのしくみを理解	する(	総まとめ・国語	試対策)				
	21	講義	こころのしくみを理解する (総まとめ・国試対策)							
	22	講義	こころのしくみを理解する (総まとめ・国試対策)							
指導	23	講義	こころのしくみを理解する (総まとめ・国試対策)							
計画	24	講義	こころのしくみを理解	する (	総まとめ・国	試対策)				
	25	講義	こころのしくみを理解	する (	総まとめ・国語	试対策)				
	26	講義	こころのしくみを理解	する (	総まとめ・国	試対策)				
	27	講義	こころのしくみを理解	する(	総まとめ・国語	式対策)				
	28	講義	こころのしくみを理解	する(	総まとめ・国語	武対策)				
	29	講義	こころのしくみを理解	する(	総まとめ・国語	武対策)				
30 講義 こころのしくみを理解する (総まとめ・国試対策)										
			原則、筆記試験の実施	筆記詞	類 f	無				
			しない場合は、授業の中	でレポート	や実技試験をお	おこなうこ	と。レポート課題・実技	試験の内容及び評価ポ		
テ=	キスト・	参考図書等	中央法規 最新介護福	祉士養成	講座11 ここ	ろとから	だのしくみ			
	評価	方法	講義内で小テスト及び 授業態度・出席率など			トを実施す	する。振り返りとして質	筆記試験評価を80%ととし、		
	/ T/ 台じ / ナ	# 关 冷	<u>┃</u> 習・実習(施設/企業等)							

	1			1					<b>达</b> 療福祉専門学校		
科目名		コミュニ	ニケーション	<b>公</b> 利力	介護福祉	· 公公	講師名	林	浩文		
時間数		3(	〇時間	学科名	八菱蚀仙	L <del>I</del> M	実務経験の有無	介護福祉士並びば	・事業所で支援業務 に社会福祉士養成施設 E教員業務		
Ē	学年・	学期配当	1 年次	02	年次		前期    〇名	<b></b>	通期		
	目的•	ねらい		1二ケーショ 1年次の学	aン、家族とのコ <sup>2</sup> 習の振返りも適 <sup>1</sup>	ョン障害があると言われている。信頼関係を築いていくためにも、 家族とのコミュニケーション、職場でのコミュニケーション 振返りも適時盛り込む。					
		全体の の概要	教科書に記載しているテーマ 国家試験を意識した授業展開								
	達成	*特性に応じたコミュニケーションのあり方がわかる。 * コミュニケーション障害とは何かが理解できる。 * 家族や職員とのコミュニケーションに必要な知識を知ることができる。 * 国家試験対策としても理解することができる。									
		形態		内 容							
	1	講義	オリエンテーション								
	2	講義	国家試験の過去問を解いてみ	よう! ~	〜今から学習するに	内容を知るこ	ことを目的に				
	3	講義	第3章 対象者の特性に応し	ジたコミュニ	エケーション そう	ちそもコミュ	ュニケーション障害とは①				
	4	講義/演習	第3章 対象者の特性に応し	プたコミュニ	ニケーション そう	ちそもコミュ	1二ケーション障害とは②				
	5	講義/演習	第3章 対象者の特性に応し	ンたコミュニ	ニケーション 特性	生を学ぶ、神	見・聴覚・構音に障害のあ	5る人			
	6	講義/演習	第3章 対象者の特性に応し	ンたコミュニ	ニケーション 特性	生を学ぶ 失	등語症・認知症・精神的に障	雪のある人			
	7	講義/演習	第3章 対象者の特性に応し	ジたコミュニ	ニケーション 特性	生を学ぶ 知	0的・発達・高次機能に障害	のある人			
指導計	8	講義/演習	第3章 対象者の特性に応し	ンたコミュニ	ニケーション 特性	生を学ぶ 扱					
画	9	講義/演習	第4章 家族とのコミュニケ	<b>ケーション</b> ①							
	10	講義/演習	第4章 家族とのコミュニケ	ケーション②	)						
	11	講義/演習	第5章 チームコミュニケー	-ション①							
	12	講義/演習	第5章 チームコミュニケー	-ション②							
	13	講義/演習	第5章 チームコミュニケー	-ション③							
	14	講義	1年次も含めた総まとめ(国	国家試験対策	き含む)						
	15	講義	1年次も含めた総まとめ(国	国家試験対策							
			原則、筆記試験の実施	筆記記	、験 ○有・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<b>*</b>					
			しない場合は、授業の中	<u>でレポート</u>	<u>- や実技試験を</u> お	おこなうこ	<u>と。レポート課題・実技</u>	試験の内容及び	評価ポイントなど		
テキ	 Fスト・	参考図書等	中央法規 最新介護 資料配布 (国家試験)	福祉士養	成講座5	コミュニク	アーション技術				
	全講義終了後に、別日を設けて原則筆記試験を実施する(試験監督はWAD職員)。ただし科目によっては、レポートや実技試 筆記試験の代わりにすることができる。学生便覧より 筆記試験70%、出席状況10%、授業中の態度20%で評価する。筆記試験の評価が悪い学生は再試験を実施する。										

科目名			エーション 援助法Ⅱ	・ 学科名	介護福祉	 - 学彩	講師名	平野 雅子	
時間数		60	O時間	子符百	八碳蚀	L <del>I</del> M	実務経験の有無	看護師として病院介護福祉施設訪問看 護ステーション等で実務経験あり	
<u>۽</u>	学年•	学期配当	1 年次	(2年	次		前期	<b>通期</b> 通期	
	目的・	ねらい	利用者それぞれの「心 を養い、実践すること			目的とした	ミレクリエーションを	企画・立案及び実施できる能力	
		全体の の概要	コミュニケーションワ 験をしながら、実践力		ループワークを	を取り入れ	1て学習する。 レクリ	エーション種目や活動などの体	
	達成	了時の 課題 目標)	目的、ねらいに沿って で表現できる。 レクリエーションの意					レクリエーション技術を 実践	
		形態				内容	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	1	講義・演習	33 新入生と在校生の交流を想定した企画と実践						
	2	講義・演習	引 新入生と在校生の交流を想定した企画と実践						
	3	講義・演習	レクリエーションの実	践•体験	季節の作品	品•壁面構	<b>請</b> 成		
	4	講義・演習	レクリエーションの実	践•体験	季節の作品	品•壁面構	<b></b> 「 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、		
	5	講義・演習	レクリエーションの実	践•体験	季節の作品	品•壁面構	<b>請</b> 成		
	6	講義・演習	レクリエーションの実	践•体験	季節の作品	品•壁面構	請成 分析と考察		
+11	7	講義・演習	レクリエーションの実	践•体験	季節の作品	品•壁面構	請成 分析と考察		
指導計	8	講義・演習	レクリエーションの企	画と実践	<ul><li>実習に向ける</li></ul>	て 高齢者	ずの好きな歌(童謡・	流行歌)	
画	9	講義・演習	レクリエーションの企	画と実践	<ul><li>実習に向ける</li></ul>	て 高齢者	者の好きな歌(童謡・	流行歌)	
	10	講義・演習	レクリエーションの企	画と実践	• 実習に向け <sup>-</sup>	て高齢者	香の好きな歌(童謡・	流行歌)	
	11	講義・演習	レクリエーションの企	画と実践	<ul><li>実習に向ける</li></ul>	て 高齢者	番の好きな歌(童謡・	流行歌)	
	12	講義・演習	レクリエーションの企	画と実践	• 実習に向け <sup>-</sup>	て音楽を	を使った体操		
	13	講義・演習	レクリエーションの企	画と実践	• 実習に向け <sup>-</sup>	て音楽を	を使った体操 		
	14	講義・演習	レクリエーションの企	画と実践	• 実習に向け <sup>-</sup>	て音楽を	を使った体操 		
	15	講義・演習	レクリエーションの企	画と実践	<ul><li>実習に向ける</li></ul>	て 音楽を	を使った体操		
			原則、筆記試験の実施 しない場合は、授業の中 イントなどの提出を必須					試験の内容及び評価ポ	
テ=	キスト・	参考図書等	①「楽しさをとおした 公益社団法人 日 ②他必要に応じて資料	本レクリ:			/ョン支援の理論と方	法~」	
		方法	ボランティア等課外活り組みの状況を評価対 の組みの状況を評価対 図・実習(施設/企業等)	象とし、			を含めた課題提出、授	業への出席状況、参加態度、取	

								<b>山島国際医療福祉専門学校</b>			
科目名			エーション 援助法 II	24 TN /2	<b>个</b> 类短句	L 224 II V	講師名	平野 雅子			
時間数		60	O時間	学科名	介護福祉	[字件	実務経験の有無	看護師として病院介護福祉施設訪問看 護ステーション等で実務経験あり			
ij	学年 • •	学期配当	1 年次	(2年	<b>沙</b>		前期    後	期通期			
	目的・	ねらい	: 利用者それぞれの「心を元気にすること」を目的としたレクリエーションを企画・立案及び実施できる能力 を養い、実践することができる。								
		全体の の概要		コミュニケーションワークやグループワークを取り入れて学習する。レクリエーション種目や活動などの体 験をしながら、実践力を学ぶ。							
	達成	5了時の 課題 目標)	で表現できる。	目的、ねらいに沿ってレクリエーションの楽しさを体験し、支援者としてのレクリエーション技術を 実践できる。 アクリエーションの意義とその必要性について、理解し、実践できる。							
		形態	内 容								
	16 講義・演習 レクリエーションの企画と実践・実習に向けて 手遊びとゲーム										
	17 講義・演習 レクリエーションの企画と実践・実習に向けて 手遊びとゲーム										
	18 講義・演習 レクリエーションの企画と実践・実習に向けて 手遊びとゲーム										
	19	講義・演習	利用者の状態に合わせ	たレクリ	エーションの	実施					
	20	講義・演習	利用者の状態に合わせ	たレクリエーションの実施							
	21	講義・演習	利用者の状態に合わせ	態に合わせたレクリエーションの実施							
	22	講義・演習	利用者の状態に合わせ	せたレクリエーションの実施							
指導計	23	講義・演習	利用者の状態に合わせ	用者の状態に合わせたレクリエーションの実施							
画	24	講義・演習	利用者の状態に合わせ	たレクリ	エーションの	実施					
	25	講義・演習	利用者の状態に合わせ	たレクリ	エーションの	実施					
	26	講義・演習	利用者の状態に合わせ	たレクリ:	エーションの	実施					
	27	講義・演習	利用者の状態に合わせ	たレクリ:	エーションの	実施					
	28	講義・演習	利用者の状態に合わせ	たレクリ.	エーションの	実施					
	29	講義・演習	利用者の状態に合わせ	たレクリ:	エーションの	実施					
	30 講義・演習 利用者の状態に合わせたレクリエーションの実施										
原則、筆記試験の実施 筆記試験 有 • 〇無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技イントなどの提出を必須とする。							試験の内容及び評価ポ				
テ=				した心の元気づくり 〜レクリエーション支援の理論と方法〜」 日本レクリエーション協会 編 資料等を配布							
	評価方法		り組みの状況を評価対	象とし、			を含めた課題提出、授業	<b>業への出席状況、参加態度、取</b>			
N*/	エンゴミノナ	- = = = : (宝)	習・実習(施設/企業等)	1							

					•			以島国際医療福祉等的字校 		
科目名		医療	いた。	学科名	介護福祉学科		講師名	岡村 好美 梶山 香代子		
時間数		6	7時間	7			実務経験の有無	看護師として病院での看護業務		
Ē	学年・ミ	学期配当	1 年次	25	<b>F</b> 次		前期    後	期通期		
	目的•	ねらい	介護福祉士の業務の中 て医療職との連携のも					まえ喀痰吸引、経管栄養につい ・技術を習得する		
		全体の D概要						は1~22回まで講義、23~ い技術の習得を確認する。		
授業修了時の 達成課題 (到達目標) 医療的ケアが必要な人の安全で安楽な生活を支えるため、医療職との連携のもとでケアを安全・適切に できるよう知識・技術を習得する。							ちとでケアを安全・適切に実施			
		形態			P	为 容				
	1	講義	人間の尊厳と医療の倫	理につい	7		<b>-</b>			
	2	講義	喀痰吸引等の制度を学	ıSï						
	3	講義	安全な療養生活 1.	喀痰吸引·	や経管栄養の	安全な実施	<u> </u>			
	4	講義	安全な療養生活 2.	救急蘇生	• 応急手当					
	5	講義	安全な療養生活 3.	救急蘇生	法の手順					
	6	講義	清潔保持と感染予防	1. 感染	 予防					
	7	講義	清潔保持と感染予防	2. 療養	環境の清潔と	肖毒法				
指導	8	講義	健康状態の把握 1.	身体•精	神の健康					
計画	9	講義	健康状態の把握 2.	バイタル	サイン・急変物	犬態				
	10	講義	喀痰吸引 1. 呼吸の	仕組みと	働き					
	11	講義	喀痰吸引 2. 喀痰吸	引とは						
	12	講義	喀痰吸引 3. 人工呼	吸器と吸	<b>3</b> 1					
	13	講義	喀痰吸引 4. 人工呼	吸療法時	の喀痰吸引、空	生活支援、	医療職との連携			
	14	演習	喀痰吸引 5. 子供の	吸引、吸	引をうける利用	用者・家族	東の気持ちと対応			
	15	15 講義 喀痰吸引 6. 呼吸器系の感染と予防								
	原則、筆記試験の実施 筆記試験 有 ・ 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。									
テキ	<b>F</b> スト・	参考図書等	最新 介護福祉士養成	講座 15	5 医療的ケア	'(中央法	規)			
	評価	方法	講義終了後(前期・後に評価を行う	期)に別	日を設けて筆詞	記試験を実	 『施する。筆記試験、!	出席状況、演習をもとに総合的		
\•⁄										

					•			以島国際医療福祉等的字校 		
科目名		医鸡	そのケア アー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	学科名	介護福祉学科		講師名	岡村 好美 梶山 香代子		
時間数		6	7時間	<del>5</del> 1910			実務経験の有無	看護師として病院での看護業務		
Ē	学年・9	学期配当	1 年次	25	<b></b>		前期    後	<b>通期</b> 通期		
	目的。	ねらい	介護福祉士の業務の中 て医療職との連携のも	に医療的 とで医療	ケアが含まれ <sup>-</sup> 的ケアを安全	ている。 E • 安楽に写	E療的ケアの理解を踏 E施できるように知識	まえ喀痰吸引、経管栄養につい ・技術を習得する		
授業全体の 内容の概要 介護福祉士が医療的ケアを行う基本的知識・技術を習得する為、喀痰吸引では1~22回まで講義、 30回で演習。経管栄養では31~41回で講義、42~45回で演習を行い技術の習得を確認する。										
授業修了時の 達成課題 (到達目標) 医療的ケアが必要な人の安全で安楽な生活を支えるため、医療職との連携のもとでケアを安全・適切できるよう知識・技術を習得する。							もとでケアを安全・適切に実施			
		形態			Į.	为 容				
	16	講義	喀痰吸引 7. 喀痰吸	引により:	生じる危険、	事後の安全	全確認			
	17	講義	講義 喀痰吸引 8. 急変・事故発生時の対応と事前対策							
	18	講義	喀痰吸引の実施 手順1.痰吸引で用いる必要物品としくみ、清潔の保持							
	19	講義	喀痰吸引の実施 手順	2. 吸引	の技術と留意	<u>ب</u>				
	20	講義	喀痰吸引の実施 手順	施 手順3.吸引実施の手順と留意点(準備・観察・実施)						
	21	講義	喀痰吸引の実施 手順	4. 吸引	実施の手順と	留意点(幸	3告・記録・かたずけ	)		
	22	講義	喀痰吸引にともなうケ	ア						
指導計	23	演習	救急蘇生法の実施、シ	ュミレー	ターを用いて	実施				
画	24	演習	□腔内の喀痰吸引 声	掛けの演	<b>翌</b>					
	25	演習	口腔内の喀痰吸引							
	26	演習	口腔内の喀痰吸引							
	27	演習	鼻腔内の喀痰吸引							
	28	演習	鼻腔内の喀痰吸引							
	29	演習	気管カニューレ内の喀	痰吸引						
	30 演習 気管カニューレ内の喀痰吸引									
テキ	Fスト・	参考図書等	最新 介護福祉士養成	講座 15	5 医療的ケア	'(中央法	規)			
	評価	方法	講義終了後(前期・後に評価を行う	期)に別	日を設けて筆詞	記試験を実	<b>に施する。筆記試験、</b>	出席状況、演習をもとに総合的		
\•.	T/46/-L	====		\						

					1				会选紧备征导门学校 ————————————————————————————————————
科目名		医療	き的ケア	学科名	介護福祉学科		講師名	成 梶	計 好美 山 香代子
時間数		6	7時間	7			実務経験の有無	看護師とし	て病院での看護業務
٩١	学年・等	学期配当	1 年次	25	<b></b>		前期    後	期	通期
	目的•	ねらい	介護福祉士の業務の中て医療職との連携のも						
授業全体の 内容の概要									
授業修了時の 達成課題 (到達目標) 医療的ケアが必要な人の安全で安楽な生活を支えるため、医療職との連携のもとでケアを安全・適切 できるよう知識・技術を習得する。							安全・適切に実施		
		形態			P	为 容			
	31	講義	高齢者及び障害児・者	の経管栄	養1.消化器	系の仕組み	ょと働き		
	32	講義	高齢者及び障害児・者	の経管栄	養2.経管栄養	養とは			
	33	講義	高齢者及び障害児・者	の経管栄	養3. 注入する	る内容に関	関する知識		
	34	講義	高齢者及び障害児・者	の経管栄	養4.経管栄養	養実施の貿	3意点		
	35	講義	高齢者及び障害児・者	の経管栄	養5.子供の約	径管栄養、	本人家族の気持ち		
	36	講義	高齢者及び障害児・者	の経管栄	養6.経管栄養	養に関係す	する感染と予防		
	37	講義	高齢者及び障害児・者	の経管栄	養7. 急変・	事故発生的	きの対応と事前対策		
指導計	38	講義	経管栄養手順 1.器	具・器材	としくみ、清潔	絜保持			
画	39	講義	経管栄養手順 2. 技	術と留意	点				
	40	講義	経管栄養手順 3. 経	管栄養に	必要なケア				
	41	講義	経管栄養手順 4.報	告及び記	録				
	42	演習	経鼻経管栄養						
	43	演習	経鼻経管栄養						
	44	演習	胃ろうまたは腸ろうに	よる経管	栄養				
	45 演習 胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養								
	原則、筆記試験の実施 筆記試験 (有)・ 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポイントなどの提出を必須とする。								び評価ポ
テキ	-スト・	参考図書等	最新 介護福祉士養成	講座 15	5 医療的ケア	'(中央法	規)		
	評価方法 講義終了後(前期・後に評価を行う				日を設けて筆詞	記試験を写	『施する。筆記試験、!	出席状況、演	習をもとに総合的
\•/									

								ИШЕ	国際医療福祉専門学校			
科目名		介護	の基本2	*** TN /72	<b>△</b> ##5₩	- <del>224</del>	講師	名	福場 典子			
時間数		60	O時間	- 学科名 -	科名 介護福祉学科 —		実務経験の有	無 介護福祉士	a者支援施設支援業務 並びに社会福祉士養成施設 の専任教員業務			
Ë	<b>学年・</b> 等	学期配当	1 年次	02	年次		〇前期	後期	通期			
	目的•	ねらい	1年次に履修した介護の基本1の学びの振り返りと、生活を支援する介護福祉士と共に生活を支えるフォーマルとインフォーマルの多職種の支援の在り方を学ぶ。									
		全体の の概要	教科書を使用し、利用 が関わっての生活支援 国家試験勉強も盛り込	でありー.								
	達成	了時の 課題 目標)	<ul><li>生活を支えるフォー</li></ul>	リハビリテーションの基本的考え方がわかる。 生活を支えるフォーマルサービスとインフォーマルサービスを知り説明をすることができる。 多職種の役割と機能を知り説明をすることができる。								
		形態			ŗ.	为 容						
	1	講義/演習	オリエンテーション・	1年次の	振り返り							
	2 講義/演習 1年次の振り返り 学内試験問題											
3 講義/演習 1年次の振り返り 学内試験問題												
	4	講義/演習	1年次の振り返り 学	内試験問	題							
	5	講義/演習	利用者理解の視点 用語の確認									
	6	講義/演習	(ICF、自律、自己選択、自己決定、エンパワメント、ストレングス、アプローチ、パートナーシップなど)									
+12	7	講義/演習	利用者理解の視点 用語の確認									
指導計	8	講義/演習	(ICF、自律、自己選択、自己決定、エンパワメント、ストレングス、アプローチ、パートナーシップなど)									
画	9	講義/演習	教科書3 第3節 自立支援とリハビリテーション ①									
	10	講義/演習	教科書3 第3節 自	立支援と	リハビリテー:	ション ②						
	11	講義/演習	教科書3 第3節 自	立支援と	リハビリテー	ション ③	3)					
	12	講義/演習	教科書3 第3節 自	立支援と	リハビリテー	ション ④						
	13	講義/演習	教科書3 第3節 自	立支援と	リハビリテー:	ション ⑤						
	14	講義/演習	教科書4 第2章第1	節 地域	共生社会 地	或包括ケア	システム					
	15 講義/演習 教科書4 第2章第2節 生活を支えるフォーマルサービス(社会的サービス)											
テキ	<b>ドスト・</b>	参考図書等	介護福祉士養成講座3 介護福祉士養成講座4 介護福祉士国家試験過	- 介護の	基本Ⅱ(中央)	去規)	a祉士国家試験模擬F	問題集(中央	法規)など使用			
		i方法	学生便覧による ・評定基準:筆記試験  ・評定基準:流談/企業等		出席20% 提出	出物など1	0%で評価する。					

									広島国際医療福祉専門学校			
科目名		介護	の基本2	24.EV 77	<b>∧</b> #+ <u>5</u> +	- 光壬/1	講	師名	福場 典子			
時間数		60	O時間	→ 学科名	科名 介護福祉学科 -		実務経験の	有無 介	障がい者支援施設支援業務 ↑護福祉士並びに社会福祉士養成施設 の専任教員業務			
Ę	学年・等	学期配当	1 年次	02:	年次		〇前期	後	期    通期			
	目的•	ねらい	1年次に履修した介記 マルとインフォーマル					舊福祉:	土と共に生活を支えるフォー			
		全体の の概要	教科書を使用し、利用が関わっての生活支援 国家試験勉強も盛りと	爰であり一ん					たくさんの人や物や制度など 開とする。			
	達成	了時の 課題 目標)	・リハビリテーション ・生活を支えるフォー ・多職種の役割と機能 ※覚えることができる	-マルサーI teを知り説	ビスとインフ:	ォーマルサ	ナービスを知り説印	明をする	ることができる。			
		形態			Į.	为 容						
	16	講義/演習	教科書4 第2章第2	2節 生活 <sup>2</sup>	を支えるフォ <sup>、</sup>	ーマルサー	-ビス(社会的サ <sup>、</sup>	ービス)	)			
17 講義/演習 教科書4 第2章第3節 生活を支えるインフォーマルサービス(私的サービス)							ス)					
18 講義/演習 教科書4 第2章第3節 生活を支えるインフォーマルサービス(私的サービス)								ス)				
	19	講義/演習	利用者の生活を支えるしくみのまとめ									
	20	講義/演習	利用者の生活を支える	るしくみの	まとめ							
	21	講義/演習	教科書4 第4章 協働する多職種の機能と役割 第1節									
	22	講義/演習	教科書4 第4章 協	協働する多品	職種の機能と	役割 第1	節					
指導品	23	講義/演習	教科書4 第4章 協	協働する多国	職種の機能と行	役割 第2	2節					
計画	24	講義/演習	教科書4 第4章 協	協働する多品	職種の機能と行	役割 第2	2節					
	25	講義/演習	教科書4 第4章 協	協働する多品	職種の機能と	役割 第3	3節					
	26	講義/演習	教科書4 第4章 協	協働する多品	職種の機能と	役割 第3	3節					
	27	講義/演習	教科書4 第4章 協	協働する多品	職種の機能と	没割 第4	1節					
	28	講義/演習	教科書4 第4章 協	協働する多品	職種の機能と行	没割 第4	1節					
	29	講義/演習	まとめ									
30 講義/演習 まとめ												
			原則、筆記試験の実施 しない場合は、授業の中 イントなどの提出を必須	Þでレポート			と。レポート課題・	実技試	験の内容及び評価ポ			
テキ		参考図書等	介護福祉士養成講座。 介護福祉士養成講座。 介護福祉士国家試験過	4 介護の	基本Ⅱ(中央)	去規)	<b>冨祉士国家試験模</b> 技	疑問題	集(中央法規)など使用			
	評価	ī方法	学生便覧による ・評定基準:筆記試験	食70% 出	は席20% 提出	出物など1	0%で評価する。					

								四曲色阶区	寮福祉専門字校 	
科目名		介護(	の基本3	△栞行力	L₽₹₩	請	師名	林	浩文	
時間数		60	D時間	介護福祉	[子科	実務経験の	)有無	介護福祉士並び	事業所で支援業務 ドに社会福祉士養成 日任教員業務	
当	≠•	学期配当	1 年次	2年次		前期	後	期	通期	
	目的•	ねらい	<u>介護福祉の基本とな</u> を理解し、介護福祉 介護の基本1・介護 策も講ずる	の専門職とし	ノての能力	りと <u>態度</u> を習得	する。		_	
		全体の の概要	必要な情報について ラーニング講義を行 介護及び介護福祉に を行う。	う。						
1	達成	了時の 課題 目標)	1、介護を必要とする。 明ができる。 2、介護サービスの意 3、介護サービスの種	味と特性につい	ハて理解し	ノ説明できる。			ついて理解し説	
D 形態 内 容										
	1 講義 科目オリエンテーション、評価方法等説明									
	2	講義 介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみ〜利用者の生活を支えるしくみ〜								
	3	講義	介護福祉を必要とす	る人の生活を	支えるし	ノくみ〜生活を気	をえる	フォーマルち	ナービスとは~	
	4	講義	介護福祉を必要とする	る人の生活をす	支えるしく	くみ~生活を支え	えるイ	ンフォーマル	サービスとは〜	
	5	講義・演習	介護福祉を必要とする人	の生活を支える	るしくみ〜	地域のフォーマル	サーヒ	ごスとインフォ・	-マルサービス〜	
	6	講義	介護福祉を必要とす	る人の生活を	を支えるし	ノくみ~地域連 <u>:</u>	携~			
指	7	講義・演習	介護福祉を必要とす	る人の生活を	を支えるし	ノくみ〜地域の <sup>3</sup>	社会資	資源調査~①		
導計	8	講義	介護福祉を必要とす	る人の生活を	を支えるし	ノくみ〜地域の <sup>3</sup>	社会資	資源調査~②		
画	9	講義	介護における安全確	保とリスクマ	7ネジメン	ソト〜介護にお	けるst	定全の確保~		
	10	講義	介護における安全確	保とリスクマ	7ネジメン	ソト~リスクマ:	ネジ>	メントとは何だ	か~	
	11	講義・演習	介護における安全確	保とリスクマ	7ネジメン	ント〜身体拘束	• 虐待	<b>\$~</b> ①		
	12	講義	介護における安全確	保とリスクマ	7ネジメン	ント〜身体拘束	• 虐待	<b>≒~</b> ②		
	13	講義	介護における安全確	保とリスクマ	7ネジメン	ント~認知症の	方への	D対応~①		
	14	講義	介護における安全確	ー <u>ーーー</u> 保とリスクマ	 7ネジメン		<u></u> 方への			
	15	講義	介護における安全確	保とリスクマ	7ネジメン	ント~感染症対	<del></del> 策~			
テキ	スト・	参考図書等	①「最新・介護福祉士養成講座 3 介護の基本 I」(第2版) 介護福祉士養成講座編集委員会編 中央法規 ②「最新・介護福祉士養成講座 4 介護の基本 II」(第2版) 介護福祉士養成講座編集委員会編 中央法規							
	評価	i方法	出席状況、参加態度 に評価する。	(10%),	レポート	∼課題等(10 <sup>⁰</sup>	%)、	試験(809	%)を総合的	

							以氙	四际区综	§福祉専門学校			
科目名		介護(	の基本3	当初夕	<b>介</b> 諾拉加	<b>公公</b>	講師	诏	林 浩文			
時間数		60	O時間	学科名	介護福祉	L子科	実務経験の有		晶祉施設・事業所で支援業務 晶祉士並びに社会福祉士養成 施設の専任教員業務			
学	≇年・≒	学期配当	1 年次	2:	年次		前期	後期	通期			
	目的・	ねらい	介護福祉の基本とな し、介護福祉の専門 介護の基本1・介護 る。	職として	の能力と態度	度を習得す	<u>する。</u>		らめのしくみを理解 に国家試験対策も講ず			
		全体の D概要	必要な情報について グ講義を行う。 介護及び介護福祉に						てアクティブラーニン いながら講義を行う。			
1	授業修 達成 (到達	了時の 課題 目標)	<ul><li>1、介護を必要とする人の人間の多様性・複雑性・生活・生活ニーズ、生活障害について理解し説明ができる。</li><li>2、介護サービスの意味と特性について理解し説明できる。</li><li>3、介護サービスの種類と提供の場、他職種連携について理解し説明できる。</li></ul>									
		形態				内	容					
	16	講義	協働する多職種の機	能と役割	〜多職種連排	隽•協働(	の必要性~①					
	17	講義	協働する多職種の機	能と役割	〜多職種連排	隽•協働(	の必要性~②					
	18	講義	協働する多職種の機	能と役割	〜多職種連排	隽•協働(	こ求められる基本	的能力~	<b>-</b> ①			
	19	講義	協働する多職種の機	能と役割	〜多職種連排	隽•協働(	こ求められる基本	的能力~	~2			
	20	講義	協働する多職種の機能と役割〜多職種連携・協働に求められる基本的能力〜③									
	21	講義	協働する多職種の機	能と役割	~保健・医療	寮•福祉፤	職の役割と機能〜	1				
41-	22	講義	協働する多職種の機	能と役割	~保健・医療	寮•福祉⅓	職の役割と機能〜	2				
指導計	23	講義	協働する多職種の機	能と役割	│〜保健・医療	寮•福祉∮	職の役割と機能〜	(3)				
画	24	講義	協働する多職種の機	能と役割	〜多職種連排	隽•協働(	の実際〜					
	25	講義	介護従事者の安全~	健康管理	の意義と目的	的~						
	26	講義	介護従事者の安全~	心の健康	管理~							
	27	講義	介護従事者の安全~	身体の健	康管理~							
	28	講義	介護従事者の安全~	労働環境	の整備~①							
	29	講義	介護従事者の安全~	労働環境	め整備~②							
	30	講義	介護の基本3 総ま		h-h-=	+	ATT.					
	原則、筆記試験の実施 筆記試検 有 ・ 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内 及び評価ポイントなどの提出を必須とする。								<b>果題・実技試験の内容</b>			
①「最新・介護福祉士養成講座 3 介護の基本 I」 テキスト・参考図書等 ②「最新・介護福祉士養成講座 4 介護の基本 I」 介護福祉士養成講座 4 介護の基本 I」 介護福祉士養成講座編集委員会編 中央法						規 (第2版)						
	評価	方法	出席状況、参加態度	<b>(10</b> %	%)、レポー	ト課題等る。		<b>剣(80</b> 9	%)を総合的に評価す			

									,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	BIE 3133 IX
科目名		介護	<b>這</b> 過程3	岩利々	<b>小</b> 莲短划	<b>小公</b>		講師名		林浩	文
時間数		60	O時間	· 学科名	介護福祉	[字件	実務紀	経験の有無			所で支援業務 福祉士養成施設 業務
Ē	<b>学年・</b> 等	学期配当	1 年次	(2年	F次		前期	後	期	通期	
	目的・	ねらい	1. 介護過程1及び2 2. 利用者個別のニー 3. 介護過程の実践を	ズと科学的	的根拠に基づい	ハた生活支	援が展開で	きる。			
		全体の の概要	テキスト、適宜補足資 生が参加する時間を設 講義を行う。								
	達成	了時の 課題 目標)	1. 対象者の生活ニー: することができる。 2. 対象者の生活ニー: ることができる。								
		形態			P	为 容					
	1	講義	科目ガイダンス								
	2	講義	介護過程の実践的展	開 ~介語	護過程の実践的	的展開~①	)				
	3	講義	介護過程の実践的展	開 ~介語	- 護過程の実践的						
	4	講義・演習	介護過程の実践的展	ー 開 ~「 <u>?</u>	— 介護過程」展開	 増の実際〜	<b>1</b>				
	5	講義・演習	介護過程の実践的展	 開 ~「 <u>;</u>	介護過程」展開	増の実際へ	2				
	6	講義・演習	介護過程の実践的展	開 ~「;	介護過程」展開	増の実際へ	3				
	7	講義・演習	介護過程の実践的展	開 ~「;	介護過程」展開	増の実際へ	4				
指導計	8	講義・演習	介護過程の実践的展開(~「介護過程」展開の実際~⑤								
画	9	講義・演習	介護過程の実践的展	開 ~「:	介護過程」展開	増の実際〜	6				
	10	講義・演習	介護過程の実践的展	開 ~「;	介護過程」展開	増の実際〜	7				
	11	講義・演習	介護過程の実践的展	開 ~「;	介護過程」展開	増の実際へ	8				
	12	講義・演習	介護過程の実践的展	開 ~ 「;	介護過程」展開	増の実際へ	9				
	13	講義・演習	介護過程の実践的展	開 ~ 「;	介護過程」展開	増の実際へ	-10				
	14	講義・演習	介護過程の実践的展	開 ~「;	 介護過程」展開	増の実際へ	<b>-</b> (11)				
	15	講義・演習	介護過程の実践的展	開 ~「;	介護過程」展開	増の実際へ	-(12)				
		半期ごとに評価する場合	原則、筆記試験の実施 しない場合は、授業の中 ントなどの提出を必須と			無 おこなうこと	と。レポート!	果題・実技詞	式験の内容	<b>『</b> 及び評価オ	パイ
テ=	ドスト・	参考図書等	①「最新・介護福祉 介護福祉士養成				(第2版)				
	評価	ī方法	出席状況、参加態度(	10%)、	、レポート課是		)%)、試験	(80%)	を総合的	かに評価す	る。

									四	島国際医療福祉専門学校
科目名		介護	<b>這過程</b> 3	¥51.67	<b>人=#</b> -5-11	<b>224 2</b> 71		講師	名	林 浩文
時間数		60	〇時間	学科名	介護福祉	学科	実務約	経験の有		祉施設・事業所で支援業務 :士並びに社会福祉士養成施設 の専任教員業務
ij	学年•	学期配当	1 年次	(2年	坎		前期		後期	通期
	目的・	ねらい	1. 介護過程1及び2 2. 利用者個別のニー 3. 介護過程の実践を	ズと科学的	的根拠に基づい	いた生活支	援が展開で	きる。		
授業全体の 内容の概要 テキスト、適宜補足資料を中心に、目的・ねらいに沿って講義を行う。演習や視聴覚教材を用いなが 生が参加する時間を設ける。支援・介護及び介護福祉についての基礎理論を関連分野の知識を応用し 講義を行う。										
授業修了時の 達成課題 (到達目標) 1. 対象者の生活ニーズを構造的に捉え、その人らしく自立した生活を送るための支援や介護を考え、 することができる。 2. 対象者の生活ニーズを構造的に捉え、住み慣れた地域での生活継続のための支援や介護を考え、実 ることができる。										
		形態			P	夕 容				
	16	講義	介護過程とケアマネ	ジメント	~介護過程と	ニケアマネ	マジメントの「	関係性^	<b>-</b> 1	
	17	講義	介護過程とケアマネ	ジメント	~介護過程と	ニケアマネ	マジメントの「	関係性^	2	
	18 講義 介護過程とケアマネジメント ~介護過程とケアマネジメントの関係性~③									
19 講義 利用者の生活と介護過程の展開 ~利用者の様々な生活と介護過程の展開~①										
	20	講義・演習	利用者の生活と介護	過程の展	朔 ∼利用者の	の様々な生	活と介護過	程の展開	<b>1~</b> 2	
	21	講義・演習	利用者の生活と介護	過程の展	開 ∼利用者の	の様々な生	活と介護過	程の展開	<b> ~</b> 3	
	22	講義・演習	利用者の生活と介護	過程の展	開 ∼利用者 <i>0</i>	の様々な生	活と介護過	程の展開	<b>4</b>	
指導計	23	講義・演習	利用者の生活と介護	過程の展	朔 ∼利用者の	の様々な生	活と介護過	程の展開	<b>1~</b> 5	
画	24	講義・演習	利用者の生活と介護	過程の展	開 ∼事例でき	きえる利用	者の生活と	介護過程	星の展開〜	1
	25	講義・演習	利用者の生活と介護	過程の展	開 ∼事例でき	きえる利用	者の生活と	介護過程	星の展開〜	2
	26	講義・演習	利用者の生活と介護	過程の展	開 ∼事例でき	きえる利用	者の生活と	介護過程	星の展開〜	3
	27	講義・演習	利用者の生活と介護	過程の展	開 ∼事例でき	きえる利用	者の生活と	介護過程	星の展開〜	4
	28	講義・演習	利用者の生活と介護	過程の展	開 ∼事例でき	きえる利用	者の生活と	介護過程	 Eの展開〜	<u> </u>
	29	講義・演習	利用者の生活と介護	過程の展		きえる利用		介護過程	 星の展開〜	6
	30	講義	介護過程3 総まと	め						
原則、筆記試験の実施 筆記試験 有 ・ 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポントなどの提出を必須とする。									容及び評価ポイ	
テ=	キスト・	参考図書等	①「最新・介護福祉介護福祉士養成				(第2版)			
評価方法 出席状況、参加態度(10%)、レポート課題等(10%)、試験(80%)を総							る)を総合	的に評価する。		

科目名		介語	隻実習Ⅱ	24 EV 67	◇≭痘灿	- <del>27.</del> ±./	講師名	実習施設の指導者					
時間数		22	24時間	学科名	介護福祉 	字'科	実務経験の有無	指導者要件 ・介護福祉士としての実務経験 ・介護実習指導者講習会修了					
į	学年•	学期配当	1 年次	(2年	<b>F</b> 次		前期 後	期通期					
	目的・	ねらい		の立案・ に重点を	実施・評価、る 置く。また、f	これを踏る	<b>にえた計画の修正といっ</b>	った一連の介護課程のすべてを を総合して、具体的な介護サー					
		全体の の概要	教員による巡回指導)	護福祉士国家資格取得者となるべく現場での学習をする。実習事前指導、実習中指導(帰校日並びに指導 「員による巡回指導)、実習事後指導、すべてを介護実習と位置づけ、介護総合演習と連動する。 護実習先は、介護教員により熟慮し決定する。									
	達成	で了時の 課題 (目標)	2, 利用者の生活においる。自立支援の視点から4, アセスメントによっら介護計画が立案で5. 介護計画に基づい6. 自ら実践した介護	1、実習指導者との相談のもと受け持つ利用者を決定し、介護過程で学んだ思考のプロセスを実践する。 2、利用者の生活における課題を明確にする為に必要な情報収集が行える。 3、自立支援の視点から利用者の生活課題を明確にすることができる。 4、アセスメントによって明確になった課題に対して、ケースや介護職員(または他職種)と相談をしながら介護計画が立案できる。 5、介護計画に基づいた介護実践ができる。 6、自ら実践した介護計画・具体策の評価や修正ができる。 7、集団または個別のレクリエーションを実践できる。									
		形態			P	容							
	実習 配属した実習先に、28日間 1日8時間 224時間の実習をおこなう。												
	実習期間中にレクリエーションの実践を1度はおこなう。												
			実習期間中に、日勤帯	以外の勤	務帯(夜勤や	早出遅出、	準夜勤)を1回は体験	· 演する。					
			実習期間中に帰校日を 導助言をおこなう。	設け、学に	内で介護過程の	の進捗状況	兄の確認、実習記録内容	字の確認をおこない指					
			併せて、介護教員は、	実習先に	出向き、実習技	旨導を実施	する。						
指導													
計画													
			原則、筆記試験の実施 しない場合は、授業の中 イントなどの提出を必須	でレポート	ば験 有 • ・や実技試験をお	無りこなうこの	と。レポート課題・実技	試験の内容及び評価ポ					
テ=	テキスト・参考図書等		介護総合演習と連動するため 「新・介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習」 介護福祉士養成講座編集委員会編 中央法規 介護実習実施要綱 介護実習の手引き										
	評価方法		実習先からの評価を元	に、学内の	の様子、巡回技	旨導時の様	様子を加味し、総合的は	こ評価をおこなう。					

								<b>山島国際医療福祉専門学校</b>		
科目名		介護総	総合演習3				講師名	介護教員全員		
時間数		30	O時間	学科名	介護福祉	上学科	実務経験の有無	介護福祉士として介護福祉施設等での 実務経験 看護師として病院介護福祉施設訪問看 護ステーション等で実務経験あり社会 福祉施設等で生活支援業務		
Ē	学年・\$	学期配当	1 年次	(2年	巨次		前期後	期通期		
	目的•	ねらい	1. 実習の意義と重要 2. 実習を通じて学内 3. 介護福祉士として を把握することができ	で学んだ! の自覚・ <sup>1</sup>	知識を具体的は専門職として!	こ理解でき 求められる	きる。 3資質や対象者の理解で	を通し、自己に求められる課題		
		全体の D概要	実習施設や実習に必要 りができる。	な態度と	心得について	学ぶ。各家	<b>ミ習の段階に合わせて</b> 第	実習に向けての準備及び振り返		
	達成	了時の 課題 目標)	2, 実習での体験を振りる, 各領域で学んだ知道4, さまざまな対象者の	介護実習の意義と目的、実習に必要な態度と心構え、留意事項について理解できる。 実習での体験を振り返り、自己の課題に気づくことができる。 各領域で学んだ知識・技術を結びつけ考えることや、実践することができる。 さまざまな対象者と関わり、対象者の生活を知ることができる。 わかりやすい記録を書くことができる。						
		形態			į.	为 容				
	1	講義・演習	実習の目的・内容に	ついて						
	2	講義・演習	実習の目的・内容に	- :ついて						
3 講義・演習 個人票・施設概要の作成										
	4	講義・演習	個人票・施設概要・	個人計画	書の作成					
	5	講義・演習	個人計画書の作成							
	6	講義・演習	個人計画書の作成							
44-	7	講義・演習	個人計画書の作成							
指導計	8	講義・演習	個人計画書の作成							
画	9	講義・演習	個人計画書の作成							
	10	講義・演習	事前訪問の意義・目	的、アポー	イント、訪問の	の計画・7	マナー			
	11	講義・演習	事前訪問報告書作成							
	12	講義・演習	実習の心得、実習事	前学習①						
	13	講義・演習	実習の心得、実習事	前学習3						
	14	講義・演習	実習の心得、実習事	前学習④						
	15	講義・演習	実習の心得、実習事	前学習①						
	原則、筆記試験の実施 しない場合は、授業の中 イントなどの提出を必須				筆記試験 有 ・ 無) Pでレボートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポ 質とする。					
テキ	テキスト・参考図書等 が護福祉士養成講 介護実習実施要綱・手				0 介護総合 員会編 中央	演習・介語 法規 	雙実習」			
	評価	方法	出席状況、各種計画書	 • 報告書、	 、報告会への	― <b>――</b> 参加等を約				

								広島国際医療福祉専	XI JT IX				
科目名		介護総	給演習4				講師名	介護教員全員					
時間数		30	O時間	学科名	介護福祉	学科	実務経験の有無	介護福祉士として介護福祉施設等 務経験 看護師として病院介護福祉施設記 ステーション等で実務経験あり 社会福祉施設等で生活支援業務					
Ē	学年・∮	学期配当	1 年次	(2年	巨次		前期	後期通期					
	目的・	ねらい	2. 実習を通じて学内3. 介護福祉士として	実習の意義と重要性について理解できる。 実習を通じて学内で学んだ知識を具体的に理解できる。 介護福祉士としての自覚・専門職として求められる資質や対象者の理解を通し、自己に求められる課題 把握することができ、実践することができる。									
		全体の の概要	これまでの実習を通し 介護福祉士の職業理解 介護過程の展開の振り	を深める									
	達成	了時の 課題 目標)	1, 実習での体験を振り 2, 各領域で学んだ知記 3, 自分自身の目指すり 4, わかりやすい記録を 5. 介護過程の展開と	哉・技術を べき介護福 を書くこと	を結びつけ考え 冨祉士の姿がっ こができる。	え、利用者 イメージで	に必要な介護を考える。						
		形態				内	容						
	1	講義・演習	お礼状作成										
	2	講義・演習	実習事前指導① 介	護過程の	展開								
	3	講義・演習	実習事前指導② 介	護過程の	展開								
	4	講義・演習	実習事前指導③ 実	習記録簿	の確認 その	他実習前に	オリエンテーション	,					
	5	講義・演習	実習の振り返り④ 帰校日 学内指導										
	6	講義・演習	実習の振り返り⑤	帰校日	学内指導								
	7	講義・演習	実習の振り返り⑥	帰校日	学内指導								
指導品	8	講義・演習	実習報告書作成①										
計画	9	講義・演習	実習報告書作成②										
	10	講義・演習	実習報告書作成③										
	11	講義・演習	実習報告書作成④										
	12	講義・演習	実習報告書作成⑤										
	13	講義・演習	実習報告会(事例報	告)									
	14	講義・演習	実習報告会(事例報	告)									
	15	講義・演習	実習報告会(事例報	告)									
			原則、筆記試験の実施 しない場合は、授業の中 ポイントなどの提出を必	でレポート	、験 有 • ・や実技試験をお	無) おこなうこ。 ———	と。レポート課題・写	と技試験の内容及び評価 					
テキ	テキスト・参考図書等 「新・介護福祉士養成 介護福祉士養成講 介護実習実施要綱・手												
	評価方法出席状況、各種計画書				、報告会への	参加等を約	総合的に評価する。						
			3.中33/坎凯/个兴华》										

								広島国際医療福祉専門学校				
	社会	ミの理解	24.4V.67	<b>小</b> 粪痘丸	1. 公公		講師名	福場 典子				
	3	O時間	字科名	八碳価化	L子科	実務経験	の有無	障がい者支援施設支援業務 介護福祉士並びに社会福祉士養成施設 の専任教員業務				
学年 • ∮	学期配当	1 年次	〇2年次 前期 〇後期				<b></b>					
目的・	ねらい	しかしながら、生活と	社会(支	援制度など) 的である。	が結びつき	き、現実に生活を	を送るで	ことができているということを				
		数科書に記載しているテーマについて授業をおこなう。国家試験を意識した授業展開。 1年次の復習、社会保障制度全般、地域共生社会に間する制度施策、介護実践に関連する諸制度 の授業をおこなう。										
達成	課題	<ul><li>・国家試験の対策として、意欲的に学習に取り組むことができる。</li><li>・我々の生活を支える日本の法制度や施策を知ることができる。</li><li>・特に、出題率の高い、介護保険制度、障害者総合支援法、ほか社会保障全般を理解することができる。</li></ul>										
	形態		内 容									
1	講義	1年次の振返り										
2	講義	1年次の振返り オリ	エンテーション									
3	講義	第2章 地域共生社会	について	1年次復習記	<b>含む</b>							
4	講義	第2章 地域共生社会	について	1年次復習記	含む							
5	講義	第3章 社会保障制度	第3章 社会保障制度の基本的考え方									
6	講義	第3章 社会保障制度の基本的考え方										
7	講義	第3章 社会保障制度のしくみ										
8	講義	第3章 社会保障制度	83章 社会保障制度のしくみ 									
9	講義	第3章 社会保障制度	3章 社会保障制度のしくみ 									
10	講義	第6章 介護実践に関	連する諸領	制度								
11	講義	第6章 介護実践に関	連する諸領	制度								
12	講義	第6章 介護実践に関	連する諸領	制度								
13	講義	総まとめ 問題を解く	、解説す	る								
14	講義	総まとめ 問題を解く	、解説す	る								
15 講義     総まとめ 問題を解く、解説する												
		しない場合は、授業の中	い場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価ポ									
Fスト・	参考図書等	中央法規 最新介護福祉士養成講座2 社会の理解【第2版】 資料配布(国家試験過去問題や模擬問題、作成練習問題など)										
評価	5方法	は、レポートや実技試	験で、筆	記試験の代わり	りにするこ	ことができる。	学生便覧	<b>造より</b>				
	目   授   回   1   2   3   4   5   6   7   8   9   10   1   12   3   4   5   F   F   F   F   F   F   F   F   F	日的・ねらい 授漢到 (回) (を) (根) (根) (根) (根) (根) (根) (根) (根) (根) (根	目的・ねらい 国家試験対策を意識すとない。	学科名   30時間	30時間   字科名   介護福祉   30時間   日中央   30時間   1年次   02年次   1年次   02年次   日前・ねらい   日前・ねらい   日本の   日本	学科名   介護福祉学科   30時間	第4・学期配当 1年次 02年次 前期 日的・ねらい 国家試験対策を意識する。 しかしながら、生活と社会(支援制度など)が結びつき、現実に生活・理解することができることが目的である。 物料書に記載しているテーマについて授業をおこなう。 国家試験を意記 1年次の復選、社会保障制度全般、地域共生社会に問する制度施策、7の授業をおこなう。 ・ 国家試験の対策として、意飲的に学習に取り組むことができる。 ・ 技术の生活を支える日本の法制度や随寒を知ることができる。 ・ 技术の生活を支える日本の法制度や随寒を知ることができる。 ・ 技术の生活を支える日本の法制度や随寒を知ることができる。 ・ 技术の生活を支える日本の法制度や随寒を知ることができる。 ・ 技术の生活を支える日本の法制度や随寒を知ることができる。 ・ 技术の生活を支える日本の法制度や助療を知ることができる。 ・ 技术の生活を支える日本の法制度を助きるとが、 一 日本次の振返り オリエンテーション 3 講義 第2章 地域共生社会について 1年次復習含む 4 講義 第2章 地域共生社会について 1年次復習含む 4 講義 第2章 地域共生社会について 1年次復習含む 5 講義 第3章 社会保障制度の基本的考え方 6 講義 第3章 社会保障制度のレくみ 8 講義 第3章 社会保障制度のしくみ 9 講義 第3章 社会保障制度のしくみ 9 講義 第6章 介護実践に関連する諸制度 第5章 がよびまながよった。 単記は験 第6章 介護実践に関連する諸制度 0 日 ・ 無こない場合は、授業の中でレポートや実技試験で、解説する 原別、生記試験の方面、解説する 原別、生記試験の方面を解えてきる。 第一次によいました。 日本設計を解えていたの実践試験を入りに、別日を設けて原則単記試験を力能のに対りのにすることができる。 第一次に対象の外、出席状況の外、提出物10%で評価する。 単記試験の外、出席状況の外、提出物10%で評価する。 単記試験の外、出席状況の外、提出物10%で評価する。 単記試験の外、出席状況の外、提出物10%で評価する。 単記試験の外、出席状況に関連を対象の人の、出席状況に対しの、提出物10%で評価する。 単記試験の外、出席状況の外、提出物10%で評価する。 単記試験の外、提出物10%で評価する。 単記試験の外、対域を対しれていましましましましましましましましましましましましましましましましましましまし	学科名   介護福祉学科   実務経験の有無   日前・ 和らい   日前・ 和らい				

					1					<b>小区</b>	寮福祉専門学校 ————————————————————————————————————	
科目名		障害	の理解	学科名	介護福祉	F 学 权		講師名		林	浩文	
時間数		30	D時間	子符句	八碳価化	L <del>J (11</del>	実務紹	経験の有無	介護福祉	士並び	事業所で支援業務 ドに社会福祉士養成 評任教員業務	
学	⊈年•	学期配当	1 年次	(21	年次		前期	<b>(8</b>	é期		通期	
	目的•	ねらい	1年次の学びである 基礎的知識を習得す す。									
		全体の の概要	との身体的・心理的 返り時間を設ける。	↑護福祉士が障害のある人と向き合うための基本的な知識を身につける。それぞれの障害種別ごこの身体的・心理的側面を踏まえた生活とそれに応じた支援を理解する。暗記科目になるので振るり時間を設ける。 図の時間を設ける。 図家試験対策を講じる。								
	の達成	多了時 成課題 目標)		それぞれの障がいの生活のイメージが持てる。障がいのある人(子ども)とその家族の支援に必要な基礎的な医学的側面と心的側面の理解、及び本人と家族支援につながる介護の視点(環境配割)の習得を目指す。								
		形態			Þ	容						
	1	講義	オリエンテーション	障害	のある人の生活	舌の理解	(視覚	障害のあ	る人の生活	5)		
	2	講義				(	聴覚・言語	障害のあ	る人の生活	5)		
	3	講義・演習				(	重複障害の	ある人の	生活)			
	4	講義・演習	肢体不自由(運動機	能障害)	(肢体不良	自由とは・	••••)					
	5	講義・演習	知的障害のある人の	生活	(生活のヨ	里解・・・	••••)					
	6	講義・演習	振り返り									
+L7	7	講義・演習	精神障害のある人の生活 (精神障害・精神障害の定義・・・・)									
指導計	8	講義	高次脳機能障害のあ	高次脳機能障害のある人の生活 (医学的理解・・・・)								
画	9	講義・演習			振り流	亙り						
	10	講義・演習	発達障害児のある人	の生活	(発達障	害 とは・	••••)					
	11	講義・演習	発達障害のある人の	生活の理解	解 (「	为部障害の	のある人の生	活 医学	的理解・・	••)		
	12	講義・演習			])	呼吸機能障	言のある人	の生活	•••)			
	13	講義・演習			(5	免疫不全点	7イルス ・	• • • •	)			
	14	講義・演習	難病のある人の生活		( §	難病とは・		)				
	15	講義			まとめ	• 振返り						
			しない場合は、授業の	原則、筆記試験の実施 筆記試験 有 ・ 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及 び評価ポイントなどの提出を必須とする。								
テキ	:スト・	参考図書等	介護福祉士養成講座 14 障害の理解 介護福祉士養成講座編集委員会編 中央法規									
	評価	ī方法	学生便覧による 筆記試験8割 と	出席・受	講態度2割	の総合評	四面					
1.0	T/481	L =++ -+- \r	部署•軍署(施設/企	11/ 66								

							<b>際医療福祉専門字</b> 校					
科目名			報処理 <sup>本人対象)</sup>	<ul><li>学科名</li></ul>	介護福祉学科	講師名	山本 圭佑					
時間数		60	O時間	子科石	八張恒位子科	実務経験の有無	ITインストラクター 業務経験あり					
岩	年・	学期配当	1 年次	2年次	前期	後期	通期					
	目的•	ねらい	指す。		/erPointの基 挂を学習し、情報モラ		る基礎PCスキルの習得を目					
		全体の の概要	Windows10/11の基礎、Word、Excel、PowerPointの基礎、 SNS、インターネット使用における危険性の学習、情報モラルの学習									
	達成	了時の 課題 目標)	Windows10/11の SNS、インターネッ	基礎、W c ト使用にa	ord、Excel、 おける危険性の学習、	PowerPoin 情報モラルの学習	t の基礎、					
		形態			内	容						
	1	講義	オリエンテーション	、セキュリ	ティと情報モラル、	OS基本操作						
	2	演習	Word 基本的文	書作成								
	3 演習 Word 文書のデザイン											
	4	演習	Word 文書のデ	ザイン								
	5	演習	Word 文書のレ	イアウト	画像の挿入							
	6	演習	Word 文書のレイアウト 画像の挿入									
	7	演習	Word 表の挿入	文書の構成								
指導計	80	演習	Excel 基本的	表作成・テ	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙							
画	9	演習	Excel 基本的	表作成・テ	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙							
	10	演習	Excel 基本的	表作成・テ	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙							
	11	演習	Excel 計算式	<ul><li>関数・ク</li></ul>	ブラフ							
	12	演習	Excel 計算式	<ul><li>関数・ク</li></ul>	ブラフ							
	13	演習	Excel 計算式	• 関数 • ク	<u></u> ブラフ							
	14	演習	Word•Exce	1総合演習	3		,					
15 テスト 前期試験・総復習												
原則、筆記試験の実施 筆記試験 有 ・ 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験 び評価ポイントなどの提出を必須とする。												
テキ	-スト・	参考図書等	学生のためのかんたん Word/Excel/PowerPoint入門(技術評論社) 例題35+演習問題65でしっかり学ぶ Word/Excel/PowerPoint標準テキストWindows10/Office2016対 応版(技術評論社)									
	評価	i方法	全講義終了後に、別日を記試験で、筆記試験の代わり 実技試験(PC)70% と	りにすること:	ができる。学生便覧より	督はWAD職員)。ただ	<b>し科目によっては、レポートや実技</b>					
١٠,												

							祭医療福祉専門字校 					
科目名			報処理 本人対象)	学科名	介護福祉学科	講師名	山本 圭佑					
時間数		60	O時間	<del>1</del> 140	刀。麦帕亚子科	実務経験の有無	ITインストラクター 業務経験あり					
끌	≱年・9	学期配当	】 1 年次 <b>(</b>	2年次	前期	後期	通期					
	目的・	ねらい	Word、Excel、PowerPointの基礎を学び社会における基礎PCスキルの習得を目指す。 SNS、インターネットの危険性を学習し、情報モラルを身に付ける。									
	授業金		Windows10/11の基礎、Word、Excel、PowerPointの基礎、 SNS、インターネット使用における危険性の学習、情報モラルの学習									
	授業修 達成 (到達		Windows10/11の基礎、Word、Excel、PowerPointの基礎、 SNS、インターネット使用における危険性の学習、情報モラルの学習									
		形態			内	容						
	16	講義	Word•Exce	1 前期復習								
	17	演習	PowerPoin	t スライ								
	18	演習										
	19	演習	PowerPoin	t スライ	/ ドのビジュアル設定							
	20	演習	PowerPoin	t スライ	/ ドのビジュアル設定							
	21	演習	PowerPoint プレゼンテーション									
	22	演習	PowerPoint プレゼンテーション									
指導	23	演習	メールの基本操作									
計画	24	演習	メールの作成マナー									
	25	演習	インターネットの活	用								
	26	演習	インターネットの活	用								
	27	演習	Word•Exce	1 • Pow	/erPoint総合	演習						
	28	演習	Word•Exce	1 • Pow	/erPoint総合	演習						
	29	演習	Word • Exce	1 • Pow	/erPoint総合	演習						
	30	テスト	後期試験・総復習	記試験を有・								
			原則、筆記試験の実 しない場合は、授業 び評価ポイントなど	無 こなうこと。レポー	ト課題・実技試験の内容及							
テキ	ニスト・	参考図書等	学生のためのかんたん Word/Excel/PowerPoint入門(技術評論社) 例題35+演習問題65でしっかり学ぶ Word/Excel/PowerPoint標準テキストWindows10/Office2016対応版(技術評論社) 全講義終了後に、別日を設けて原則筆記試験を実施する(試験監督はWAD職員)。 ただし科目によっては、レポートや実技									
	評価	方法	全講義終了後に、別日を記試験で、筆記試験の代わり 実技試験(PC)70% と	)にすること	ができる。学生便覧より	督はIWAD職員)。ただ!	<b>∪科目によっては、レポートや実技</b>					

							祭医療福祉専門字校 							
科目名			報処理 学生対象)	・学科名	介護福祉学科	講師名	山本 圭佑							
時間数		60	O時間	子科石	八菱铀征子科	実務経験の有無	ITインストラクター 業務経験あり							
学	⊈年・\$	学期配当	   1年次 (	2年次	前期	後期	通期							
	目的•	ねらい	指す。	Word、Excel、PowerPointの基礎を学び社会における基礎PCスキルの習得を目指す。 SNS、インターネットの危険性を学習し、情報モラルを身に付ける。										
	授業金		Windows10/11の基礎、Word、Excel、PowerPointの基礎、 SNS、インターネット使用における危険性の学習、情報モラルの学習											
1	授業修 達成 (到達		Windows10/11の基礎、Word、Excel、PowerPointの基礎、 SNS、インターネット使用における危険性の学習、情報モラルの学習											
回 形態 内 容														
	1 講義 オリエンテーション、セキュリティと情報モラル、OS基本操作													
	2 演習 Word 基本的文書作成													
	3 演習 Word 文書のデザイン													
	4	演習	Word 文書のデ	Word 文書のデザイン										
	5	演習	Word 文書のレ	イアウト	画像の挿入									
	6	演習	Word 文書のレ	Nord 文書のレイアウト 画像の挿入										
	7	演習	Word 表の挿入 文書の構成											
指導品	8	演習	Excel 基本的	表作成・テ	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙									
計画	9	演習	Excel 基本的	表作成・テ	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙									
	10	演習	Excel 基本的	表作成・テ	- ザイン									
	11	演習	Excel 計算式	<ul><li>関数・ク</li></ul>	ブラフ									
	12	演習	Excel 計算式	• 関数 • ク	ブラフ									
	13	演習	Excel 計算式	• 関数 • ク	ブラフ									
	14	演習	Word•Exce	1総合演習	3									
15 テスト 前期試験・総復習														
		ト課題・実技試験の内容及												
テキ	スト・	参考図書等	学生のためのかんたん Word/Excel/PowerPoint入門(技術評論社) 例題35+演習問題65でしっかり学ぶ Word/Excel/PowerPoint標準テキストWindows10/Office2016対 応版(技術評論社)											
	評価	方法	全講義終了後に、別日を記試験で、筆記試験の代わり 実技試験(PC)70% と	りにすること	ができる。学生便覧より	督はWAD職員)。ただり	<b>し科目によっては、レポートや実技</b>							
\*/														

							祭医療福祉専門字校 					
科目名			報処理 学生対象)	学科名	介護福祉学科	講師名	山本 圭佑					
時間数		60	O時間	学科石	八碳铀蚀子科	実務経験の有無	ITインストラクター 業務経験あり					
岩	年・	学期配当	1 年次	2年次	前期	後期	通期					
	目的•	ねらい	Word、Excel、PowerPointの基礎を学び社会における基礎PCスキルの習得を目指す。 SNS、インターネットの危険性を学習し、情報モラルを身に付ける。									
	授業金		Windows10/11の基礎、Word、Excel、PowerPointの基礎、 SNS、インターネット使用における危険性の学習、情報モラルの学習									
	達成	了時の 課題 目標)			rd、Excel、 おける危険性の学習、		t の基礎、					
		形態		内 容								
	16	講義	Word•Exce	ord•Excel前期復習								
	17	演習	PowerPoin	erPoint スライド作成・編集								
	18	演習	PowerPoin	owerPoint スライド作成・編集								
	19	演習	PowerPoin	t スライ	ドのビジュアル設定							
	20	演習	PowerPoin	t スライ	ドのビジュアル設定							
	21	演習	PowerPoint プレゼンテーション									
	22	演習	PowerPoint プレゼンテーション									
指導品	23	演習	メールの基本操作									
計画	24	演習	メールの作成マナー	メールの作成マナー								
	25	演習	インターネットの活	用								
	26	演習	インターネットの活	用								
	27	演習	Word•Exce	1 • Pow	/erPoint総合	演習						
	28	演習	Word • Exce	1 • Pow	verPoint総合	· 演習						
	29	演習	Word•Exce	1 • Pow	re r Poin t総合	演習						
	30	テスト	後期試験・総復習									
			原則、筆記試験の実 しない場合は、授業 び評価ポイントなど	の中でレポ			ト課題・実技試験の内容及					
テキ	スト・	参考図書等	学生のためのかんたん Word/Excel/PowerPoint入門(技術評論社) 例題35+演習問題65でしっかり学ぶ Word/Excel/PowerPoint標準テキストWindows10/Office2016対 応版(技術評論社)									
	評価	方法	全講義終了後に、別日を記試験で、筆記試験の代わりま技試験(PC)70% と	りにすることが	ができる。学生便覧より	督はIWAD職員)。ただ「	<b>レ科目によっては、レポートや実技</b>					
<del></del>	/ 田ノ公と /-	L =# <del>**</del> \		III beb								

科目名		人間	間の理解	244V.67	<b>企</b> 業短期	(4.6.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4	講的	招	福場 典子		
時間数		3	O時間	· 学科名	介護福祉	[字件	実務経験の有		がい者支援施設支援業務 士並びに社会福祉士養成施設 の専任教員業務		
ij	学年•:	学期配当	1 年次	1年次 〇2年次 〇前期 後期 3							
	目的・	ねらい	人間の尊厳の保持や自 介護実践に必要となる						コミュニケーション・		
		全体の の概要	1年次は、前期に第1	教科書に記載しているテーマについて授業をおこなう。国家試験を意識した授業展開。 1年次は、前期に第1章、後期に第2章 2年次に、半期で第3章 の授業をおこなう。							
	達成	で で で で で で で で で で で で で で	・人間の尊厳と尊厳の保持、自立の考え方を知ることができ、自分の中に在るものに気づくことができる。 ・人間関係とコミュニケーションとの関係性を理解することができる(自己理解と他者理解)。 ・1年次の学びを基本に、チームケア実践のため及びチームリーダーになるために必要なチームマネジメントについて知ることができる。								
		形態	内容								
	1	講義	1年次の振返り								
	2	講義/演習	チームとは グルーブ	とチーム	の違い						
	3	講義	第3章 介護実践にお	けるチー	ムマネジメン	ト意義の					
	4	講義	第3章 介護実践におけるチームマネジメント 意義②								
	5	講義/演習	第3章 介護実践にお	けるチー	ムマネジメン	ト 意義	演習課題				
	6	講義	第3章 介護実践にお	けるチー	ムマネジメン	トケアを	医関するためのチ	ームマネジ	メント①		
	7	講義	83章 介護実践におけるチームマネジメント ケアを展開するためのチームマネジメント②								
指導計	80	講義/演習	第3章 介護実践にお	3章 介護実践におけるチームマネジメント ケアを展開するためのチームマネジメント 演習課題							
画	9	講義	国家試験対策 1年次	の学びも	含めて 問題を	を解く、角	解説をする				
	10	講義	国家試験対策 1年次	の学びも	含めて 問題を	を解く、角	<b></b>				
	11	講義	第3章 人材育成・自	己研鑽の	ためのチーム	マネジメン	ノト①				
	12	講義	第3章 人材育成・自	己研鑚の	ためのチーム	マネジメン	<b>ノト②</b>				
	13	講義/演習	第3章 人材育成・自	己研鑚の	ためのチーム <sup>-</sup>	マネジメン	ノト 演習課題				
	14	講義	第3章 組織の目標達	成のため	のチームマネ	ジメント①					
	15 講義 第3章 組織の目標達成のためのチームマネジメント② まとめ										
	_		原則、筆記試験の実施 しない場合は、授業の中 イントなどの提出を必須	でレポート			 と。レポート課題・9		 容及び評価ポ		
テ=	<b>ドスト・</b>	参考図書等	参考図書 中央法規	央法規 最新介護福祉士養成講座1 人間の理解【第2版】 考図書 中央法規 現場で役立つ 介護・福祉リーダーのためのチームマネジメント 料配布(国家試験過去問題や模擬問題など)							
	評価	<b>ī</b> 方法	全講義終了後に、別日を設けて原則筆記試験を実施する(試験監督はIWAD職員)。ただし科目によっては、レポートや実技試験で、筆記試験の代わりにすることができる。学生便覧より筆記試験80%、出席状況10%、提出物10%で評価する。筆記試験の評価が悪い学生は再試験を実施する。								
へ。  へ。  ※形能は、講義・演習・実習(施設/企業等)											

_									広島国際医療福祉専門学校				
科目名			支援技術 奴学実習)	出われ	介護福祉学科		講館	5名	岡田・理恵				
時間数		6	〇時間	学科名	」 が護備化	L字件	実務経験のを	<b>手無</b>	管理栄養士として 主に病院で業務				
Ë	学年・等	学期配当	1 年次	〇2年次		〇前期	後期	通期					
	目的・	ねらい	生活支援の中での「食」をテーマに授業を展開する。 高齢者施設での食介助、居宅などにおける食作り及び食介助に活かすために、知識・食を作る楽しみ ・食を提供する工夫などを実技を通して感じる。 衛生管理と感染(手洗い・食中毒など)の知識も身につける。										
		全体のの概要	講義と授業を交互に行高齢者の身体の状態に	講義と授業を交互に行う。 高齢者の身体の状態に合わせた、食の提供ができるようにテーマ別に展開をする。									
	達成	了時の 課題 目標)		<ul><li>・高齢者の身体の状態に合わせた「食」を知り、調理をすることができる。</li><li>・「食」を考え、「食」の楽しみを考え提供することができる。</li></ul>									
	1	講義	オリエンテーション	ナリエンテーション 食べることの大切さ 食事の役割									
	2	講義	オリエンテーション	オリエンテーション 食品成分表の見方、食事の形態について									
	3	実習	家政学実習室のオリエ										
	4	実習	フルーツカット、ロールサンド										
	5	実習	ー汁三菜 基本の献立の組み合わせを知る										
	6	実習	一汁三菜 切り方、計り方を知る										
	7	講義	塩分制限について 高血圧										
指導計	8	講義	塩分制限について 高血圧										
画	9	実習	塩分制限食を作る										
	10	実習	塩分制限食を作る										
	11	講義	エネルギーコントロール食について 糖尿病など										
	12	講義	エネルギーコントロール食について 糖尿病など										
	13	実習	エネルギーコントロー	ル食を作	る								
	14	実習	エネルギーコントロー	ル食を作	<u></u> る								
	15	講義	低栄養について										
テキ	<b>ドスト・</b>	参考図書等	テキストはなし プリントを毎時配布										
		i方法	学生便覧による ・評定基準:実技テス ・調理実習時は毎時レ 翌・実習・電響(施設/企業等)	ポートを		端20%	授業態度20%						

			学到夕	介誰逗扯受利		請的	币名	岡田 理恵			
	6	〇時間	子科石	八碳蚀化	L <del>I</del> M	実務経験の種	<b></b>	管理栄養士として 主に病院で業務			
学年・等	学期配当	1 年次	O2年次 O			〇前期	後期	通期			
目的•	ねらい	高齢者施設での食介助、居宅などにおける食作り及び食介助に活かすために、知識・食を作る楽しみ ・食を提供する工夫などを実技を通して感じる。									
		講義と授業を交互に行高齢者の身体の状態に	う。 合わせた、	、食の提供が <sup>-</sup>	できるよう	のにテーマ別に展開	きする。				
達成	課題		<ul><li>・高齢者の身体の状態に合わせた「食」を知り、調理をすることができる。</li><li>・「食」を考え、「食」の楽しみを考え提供することができる。</li></ul>								
	形態			ŗ	为 容						
16	講義	低栄養について									
17	実習	栄養たっぷりメニュー									
18	実習	栄養たっぷりメニュー									
19	講義	嚥下困難食について									
20	講義										
21	実習										
22	実習										
23	実習	献立を考える 考えた献立を作る									
24	実習	献立を考える 考えた献立を作る									
25	講義	便秘について									
26	実習	食物繊維たっぷりメニュー									
27	実習	実技テスト たまご焼き 一人おかず1品考え作る									
28	実習	実技テスト たまご	焼き	一人おかず1	品考え作る	5					
29	講義	レポートのまとめと授	業の振り	返り 							
30	実習	調理実習室の掃除及び	環境整備	(物品確認と	整理)						
原則、筆記試験の実施 筆記試験 有 ・ 〇無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技 イントなどの提出を必須とする。											
テスト・	参考図書等	テキストはなし プリントを毎時配布									
		・実技テストの実施 ・調理実習時は毎時レ	ポートを		席20%	授業態度20%					
	目 授内 授 ( 回 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 6 27 28 29 30 ・ 下価	(字)	目的・ねらい	(家政学実習)	(家政学実習)	(家政学実習)	(家政学実習)	(家政学実習)			

							広島国際医療福祉専門学校			
科目名			技術皿(応用)			講師名	安部 景子 平野 雅子			
時間数			O時間	学科名 介護福祉学科		実務経験の有無	介護福祉士として介護福祉施設等での 実務経験 看護師として病院介護福祉施設訪問看 護ステーション等で実務経験あり			
Ę	学年 • 🕆	学期配当	1年次 2	2年次	前期	期後期	通期			
	目的•	ねらい	「尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、利用者が主体的に生活が継続できるように、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術・態度を習得すること」を目的とする。							
		全体の の概要	【生活支援技術Ⅲ】では、①障害や疾病のある人について、医学的・心理的側面から理解すること、②生活上の困りごとを理解すること、③障害や疾病のある人への生活支援において介護福祉士が果たすべき役割を理解することの3点を教授する。 障害や疾病のある人の様々な暮らし、様々な思いを理解し、尊厳の保持や自立支援をふまえた介護実践につなげていく。							
	達成	了時の 課題 目標)	<ul> <li>① ICFの視点を用いてアセスメントを行い、生活環境を含め人物像を把握することができる。</li> <li>② 基本的な生活支援の理解に関する知識と具体的な支援方法を学ぶとともに、様々な生活場面において自立の視点や安全・安心の視点から根拠に基づいた介護が実践できる。</li> <li>③ 利用者の自立した生活を支援するため、利用者の心身の状況に合わせた介護技術ができる。および、福祉用具を選択・活用することができる。</li> <li>④ 適切な介護技術や福祉用具を用いて、障害がある人を安全に支援することができる。</li> <li>⑤ チームケア・チームアプローチにおける介護福祉士の役割が理解できる。</li> </ul>							
		形態	内容							
	1	講義	オリエンテーション	利用者の	状態・状況に応じた生活	舌支援技術とは				
	2	講義・演習	障害に応じた生活支援 技術	肢体不自	由に応じた介護①					
	3	講義・演習	障害に応じた生活支援 技術 肢体不自由に応じた介護②							
	4	講義・演習	障害に応じた生活支援 技術 視覚障害に応じた介護①							
	5	講義・演習	障害に応じた生活支援 技術 現前							
	6	演習	障害に応じた生活支援 視覚障害に応じた介護③ 技術							
指導	7	演習	障害に応じた生活支援 技術 視覚障害に応じた介護④							
計画	8	演習	障害に応じた生活支援 視覚障害に応じた介護⑤ 技術							
	9	講義・演習	障害に応じた生活支援 聴覚・言語障害に応じた介護① 技術							
	10	講義・演習	障害に応じた生活支援 技術 聴覚・言語障害に応じた介護②							
	11	演習	障害に応じた生活支援 技術 聴覚・言語障害に応じた介護③							
	12	演習	障害に応じた生活支援 技術 聴覚・言語障害に応じた介護④							
	13	演習	障害に応じた生活支援 技術 聴覚・言語障害に応じた介護⑤							
	14	演習	障害に応じた生活支援 技術 聴覚・言語障害に応じた介護⑥							
	15	5 演習 障害に応じた生活支援 聴覚・言語障害に応じた介護⑦ 技術								
テキ	スト・	参考図書等	新・介護福祉士養成講座7 生活支援技術 II 新・介護福祉士養成講座8 生活支援技術 II							
評価方法			新・介護福祉工食成講座8 生活支援技術 回 全講義終了後に、別日を設けて原則筆記試験を実施する(試験監督はIWAD職員)。 実技試験:100点(試験に合格すれば、次の実技試験を受けることができる) <u>筆記試験</u> :80点(100点満点の筆記試験を実施。得点を80%に換算)、 <u>態度点</u> :10点、 出席点:10点							

科	4 7 - 1 - 1						安部景子				
目名		生活支援技	5術Ⅲ(応用) —————	学科名	介護福祉学科	講師名	平野 雅子				
時間数		60	D時間			実務経験の有無	介護福祉士として介護福祉施設等での 実務経験 看護師として病院介護福祉施設訪問看 護ステーション等で実務経験あり				
41,	学年 • ₹	学期配当	1年次 2年次 前期 後期 通期								
	目的•	ねらい	「尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、利用者が主体的に生活が継続できるように、根拠に 基づいた介護実践を行うための知識・技術・態度を習得すること」を目的とする。								
		全体の の概要	【生活支援技術Ⅲ】では、①障害や疾病のある人について、医学的・心理的側面から理解すること、②生活上の困りごとを理解すること、③障害や疾病のある人への生活支援において介護福祉士が果たすべき役割を理解することの3点を教授する。 障害や疾病のある人の様々な暮らし、様々な思いを理解し、尊厳の保持や自立支援をふまえた介護実践につなげていく。								
	達成	了時の 課題 目標)	<ul> <li>① ICFの視点を用いてアセスメントを行い、生活環境を含め人物像を把握することができる。</li> <li>② 基本的な生活支援の理解に関する知識と具体的な支援方法を学ぶとともに、様々な生活場面において自立の視点や安全・安心の視点から根拠に基づいた介護が実践できる。</li> <li>③ 利用者の自立した生活を支援するため、利用者の心身の状況に合わせた介護技術ができる。および、福祉用具を選択・活用することができる。</li> <li>④ 適切な介護技術や福祉用具を用いて、障害がある人を安全に支援することができる。</li> <li>⑤ チームケア・チームアプローチにおける介護福祉士の役割が理解できる。</li> </ul>								
		形態			内	容					
	16	演習	障害に応じた生活支援技	術	聴覚・言語障害に応じ	た介護8					
	17	演習	障害に応じた生活支援技	術	聴覚・言語障害に応じ	た介護⑨					
	18	演習	障害に応じた生活支援技術 聴覚・言語障害に応じた介護⑪								
	19	演習	実習に向けた生活支援技術の復習								
	20	演習	実習に向けた生活支援技術の復習								
	21	演習	実習に向けた生活支援技術の復習								
指導	22	演習	実習に向けた生活支援技術の復習								
計画	23	演習	実習に向けた生活支援技術の復習								
	24	演習	実習に向けた生活支援技術の復習								
	25	演習	実習に向けた生活支援技	術の復習							
	26	演習	実習に向けた生活支援技	前の復習							
	27	演習	実習に向けた生活支援技術の復習								
	28	演習	実技試験								
	29	演習	実技試験								
	30	演習	実技試験								
原則、筆記試験の実施 筆記試験 (有) 無 しない場合は、授業の中でレポートや実技試験をおこなうこと。レポート課題・実技試験の内容及び評価が イントなどの提出を必須とする。											
テキ	- <u>-</u> -	参考図書等	新·介護福祉士養成講 新·介護福祉士養成講								
	評価方法		<u>実技試験</u> :100点(討	験に合格	筆記試験を実施する(試験 すれば、次の実技試験を の筆記試験を実施。 得点	を受けることができる	) <u>渡点</u> :10点、				

科目名		生活支援技	術以 (応用)			講師名	安部 景子 平野 雅子					
時間数		60	D時間	学科名	介護福祉学科	実務経験の有無	介護福祉士として介護福祉施設等での 実務経験 看護師として病院介護福祉施設訪問看 護ステーション等で実務経験あり					
Ā	学年・\$	学期配当	1年次 2年次 前期 後期 通期									
	目的•	ねらい	・ 「尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、利用者が主体的に生活が継続できるように、根拠に 基づいた介護実践を行うための知識・技術・態度を習得すること」を目的とする。									
		全体の の概要	【生活支援技術IV】では、国家試験の過去問題や模擬問題を解き、習得した介護技術の理解がより深まるように、文章題を読んでイメージ化できるように教授する。また、2年間の学びの集大成として、生活支援技術の試験を行う。									
	達成	了時の 課題 目標)	<ul> <li>② 基本的な生活支援の理解に関する知識と具体的な支援方法を学ぶとともに、様々な生活場面において自立の視点や安全・安心の視点から根拠に基づいた介護が実践できる。</li> <li>③ 利用者の自立した生活を支援するため、利用者の心身の状況に合わせた介護技術ができる。および、福祉用具を選択・活用することができる。</li> <li>④ 適切な介護技術や福祉用具を用いて、高齢者および障害者を安全に支援することができる。</li> <li>⑥ 習得した介護技術が、文章を読んでイメージすることができ、正答を選ぶことができる。</li> </ul>									
		形態			内	容						
	1	講義・演習	事例を用いた実技練習	1								
	2	講義・演習	事例を用いた実技練習	1								
	3	講義・演習	事例を用いた実技練習	1								
	4	講義・演習	事例を用いた実技練習	事例を用いた実技練習①								
	5	講義・演習	生活支援技術の国家試験対策①									
	6	講義・演習	生活支援技術の国家試験対策①									
	7	講義・演習	事例を用いた実技練習	事例を用いた実技練習②								
指導	8	講義・演習	事例を用いた実技練習②									
計画	9	講義・演習	事例を用いた実技練習②									
	10	講義・演習	事例を用いた実技練習②									
	11	講義・演習	生活支援技術の国家試験対策②									
	12	講義・演習	生活支援技術の国家試験対策②									
	13	講義・演習	事例を用いた実技練習③									
	14	講義・演習	事例を用いた実技練習③									
	15	講義・演習	事例を用いた実技練習③									
テキ	スト・	参考図書等	新・介護福祉士養成講座6 生活支援技術 I 新・介護福祉士養成講座7 生活支援技術 I 新・介護福祉士養成講座8 生活支援技術 II すべて、中央法規出版									
	評価	ī方法	<u>実技試験</u> :100点		。(試験監督はIWAD職員) の筆記試験を実施。得点		渡点:10点、					

							広島国際医療福祉専門学校						
科目名		生活支援技	技術IV(応用)			講師名	安部 景子 平野 雅子						
時間数		60	O時間	学科名   介護福祉学科		実務経験の有無	介護福祉士として介護福祉施設等での 実務経験 看護師として病院介護福祉施設訪問看 護ステーション等で実務経験あり						
<u>-</u>	学年 • <sup>:</sup>	学期配当	1年次 2	1年次 2年次 前期 後期 通期									
	目的・	ねらい	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
		全体の の概要					こ介護技術の理解がより深まる 学びの集大成として、生活支援						
	達成	で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	交流の試験を行う。   2 基本的な生活支援の理解に関する知識と具体的な支援方法を学ぶとともに、様々な生活場面において自立の視点や安全・安心の視点から根拠に基づいた介護が実践できる。   3 利用者の自立した生活を支援するため、利用者の心身の状況に合わせた介護技術ができる。   3 および、福祉用具を選択・活用することができる。   6 習得した介護技術が、文章を読んでイメージすることができ、正答を選ぶことができる。										
		形態			内	容							
	16	講義・演習	事例を用いた実技練習	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·									
	17	講義・演習	生活支援技術の国家試験対策③										
	18	講義・演習	生活支援技術の国家試	験対策③									
	19	講義・演習	事例を用いた実技練習④										
	20	講義・演習	事例を用いた実技練習④										
	21	講義・演習	事例を用いた実技練習④										
	22	講義・演習	事例を用いた実技練習④										
指導	23	講義・演習	生活支援技術の国家試験対策④										
計画	24	講義・演習	生活支援技術の国家試験対策④										
	25	講義・演習	事例を用いた実技練習⑤										
	26	講義・演習	事例を用いた実技練習⑤										
	27	講義・演習	事例を用いた実技練習⑤										
	28	講義・演習	事例を用いた実技練習⑤										
	29	講義・演習	実技試験										
	30	講義・演習	実技試験										
	試験の内容及び評価ポ												
テキ	スト・	参考図書等	新・介護福祉士養成講座6 生活支援技術 I 新・介護福祉士養成講座7 生活支援技術 I 新・介護福祉士養成講座8 生活支援技術 II すべて、中央法規出版										
	評価	方法	<u>実技試験</u> : 100点		o(試験監督はIWAD職員) の筆記試験を実施。得点		度 <u>点</u> :10点、						

科目名		発達と老化		· 学科名	介羅拉	祉学科	講師名	平野	雅子				
時間数			30時間	<del>- 140</del>	八克性	17IL <del>J-</del> 17 <del>1</del>	実務経験の有無		記介護福祉施設訪問 /等で実務経験あり				
学年	学年・学期配当		1 年次	〇2年次		C	O前期	後期	通期				
目的・ねらい		1511	1年次の学びを前提に、老化に伴う身体的・心理的・社会的変化が生活に及ぼす影響や高齢者の特徴に応じた生活を支援するために必要な基礎知識を学習する。										
授業全体の 内容の概要			老化に伴う機能低下が日常生活に及ぼす影響や高齢者に多い疾病について理解し、生活支援の根拠となるようにする。										
授業修了時の 達成課題 (到達目標)		題	老年期、高齢者の特徴や老化に伴うさまざまな変化や及ぼす影響を知る。生活を支援をするための基礎的な知識が理解できる。										
		形態	内容										
	1	講義	ふりかえり ( 1年次	ふりかえり( 1年次 発達から老化 ) 老化に伴う心理的変化と生活への影響 ( 認知機能)									
	2	講義	老化にともななう心理的	老化にともななう心理的変化と生活への影響( 知的機能の変化 )									
,	3	講義	ふりかえり										
	4	講義	老化にともななう社会的変化と生活絵への影響 ( 少子高齢化の問題 )										
	5	講義	老化にともななう心理的変化と生活絵の影響 ( 高齢者の就労状況 )										
	6	講義	高齢者と健康 ( 平均寿命 と 健康寿命 )										
	7	講義	( =	( 高齢者の症状・疾患の特徴 )									
指導品	8	講義	生活上の留意点 ( 骨格系 ・筋系 )										
計画	9	講義	( 変	变形性膝関節	節症)								
	10	講義	ふりかえり	ふりかえり									
	11	講義	( 脳 • 神経系 )										
	12	講義	( 循環器系 高血圧症 )										
	13	講義	( 消化器系 )										
	14	講義	(思	思性新生物	)								
	15	講義	ふりかえり										
		試験	原則、筆記試験の実施 しない場合は、授業の中 験の内容及び評価ポイン	Þでレポー	トや実技詞		なうこと。レポー	·卜課題 • 実技試					
「キス	.ト・参	考図書	中央法規出版介護福祉士養成講座 発達と老化										
評価方法			全講義終了後に、別日科目によっては、レガ評価を80%ととし、	ピートや実	接試験で	で、筆記試	は験の代わりにす						